

テクノホライゾングループ2010年中期経営計画
～輝く地平線をめざして・・・START DASH!～

2010年5月20日

テクノホライゾン・ホールディングス株式会社

目次

- はじめに
- 2010年中期経営計画



はじめに

テクノホライゾン・ホールディングス株式会社設立！

Q: テクノホライゾン・ホールディングスとは？

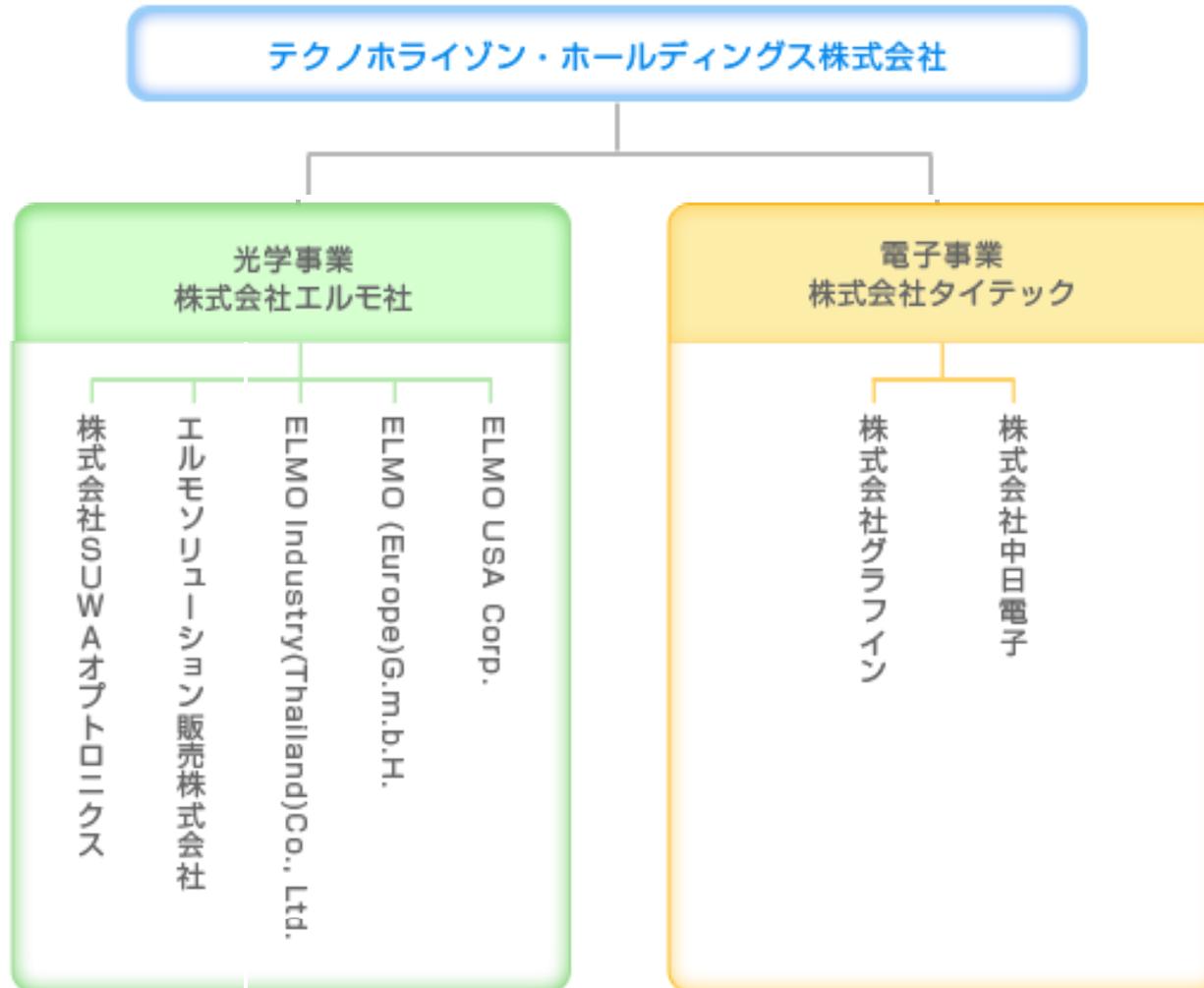
A: 株式会社タイテックならびに株式会社エルモ社が、時代状況に対する共通認識のもと、**企業集団としての力の結集とグループ各社の成長・発展をはかることを目的に、2010年4月1日に設立した共同持株会社です。**

会社概要

社名 (英文名)	テクノホライゾン・ホールディングス株式会社 (TECHNO HORIZON HOLDINGS CO., LTD.)
設立	2010年(平成22年)4月
事業内容	テクノホライゾングループの事業内容は「光学事業」と「電子事業」に分類され、当社は傘下の事業会社の経営管理を行っております。
所在地	愛知県名古屋市南区千竈通二丁目13番地1
代表者	代表取締役社長 竹内 清
資本金	2,500百万円(2010年4月現在)
売上高	34,581百万円
営業利益	630百万円
社員数	2,462名

注:当社は、2010年4月1日に(株)タイテックと(株)エルモ社が株式移転することにより、共同持株会社として設立されました。従いまして、上記売上高および営業利益は従前の連結親会社である(株)タイテック2010年3月期連結実績数値を、社員数に関しましては2010年3月末日現在における(株)タイテック連結ベースの社員数をそれぞれ記載しております。

グループ概要

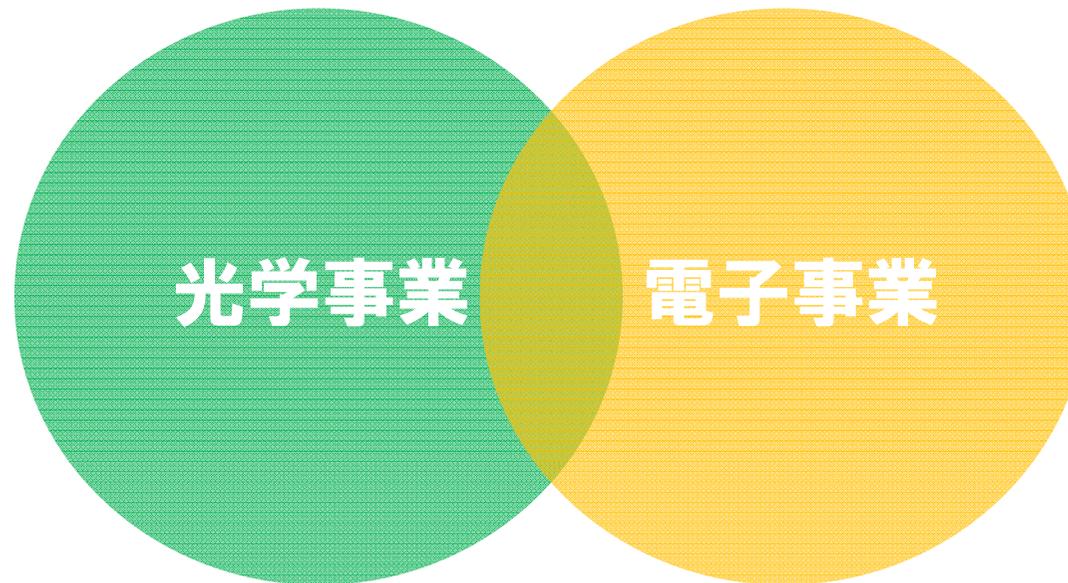


経営理念

- ◆ オプト・エレクトロニクス技術を核に**グローバル**な『**人と社会**』に貢献する。
- ◆ **知恵とアイデアと積極果敢さ**に溢れた事業展開を追求する。
- ◆ 「**技術を活かすこと**」「**皆さまのお役に立つこと**」という姿勢を貫き、**着実に前進**する。

事業内容

オプト・エレクトロニクス技術と強いマーケティング力をもってグローバルな事業展開を推進します。



Optics Business

教育用映像機器、監視カメラ、デジタルスチルカメラ・プロジェクタ用光学部品等の製造・販売

Electronics Business

セキュリティ用、放送用、FA用等、様々な分野の電子機器製造・販売

光学事業

書画カメラ事業



“分かる授業”や“効果の高いプレゼンテーション・会議”を実現する書画カメラ（資料提示装置）分野で世界をリードしております。

監視カメラ事業



カメラ部が上下・左右自由に動くパン・チルト・ズームカメラ、ネットワークカメラ、親指サイズの超小型カメラと特徴を持ったカメラが得意です。

映像ソリューション事業



大規模ネットワークカメラモニタリングシステムや、企業の会議室・大学の講義室の各種AV機器のコントロールシステム等、映像を軸にしたソリューションを提供します。

光学ユニット事業



プロジェクタやデジタルスチルカメラの光学・ユニット分野で常に最新、最高の技術を提供しております。

レンズ事業



長年に亘りたずさわってきた光学事業における知識、ノウハウと最新技術が高精度ガラスレンズや高精度プラスチックレンズを生み出します。

部品・金型事業



精密機器事業を通じて積み上げてきた高精細プラスチック成型や精密金型製作の能力が自社製品やお客様の製品に生きております。

電子事業

情報通信機器事業



映像のデジタル記録技術を応用し、オフィスや住宅、車両の運行などの分野において、安全・安心をテーマとした各種セキュリティ機器を提供するほか、通信関連機器、決済端末機器など幅広い製品があります。

FA関連機器事業



この分野の製品は、永年にわたり培ってきたモータ技術・コントロール技術を駆使したロボットコントローラ、工作機械用CNC装置があり、新たな展開として、ネットワーク対応でコストパフォーマンスに優れたFA用モーションコントローラを開発いたしました。

画像情報機器事業



高精細画像圧縮装置などの情報機器、運動負荷心電装置や生体情報モニタなどの医療装置、ハイグレードFA用カメラやFA用画像検査装置などの産業機器等いずれも高度な画像処理技術を生かした製品を提供しております。

画像検査機器事業



画像検査用入力ボードや超高速大容量入出力ボードなど、素早く最新の技術を取り入れ、高性能で使いやすい製品を提供しております。

2010年中期経営計画

2010年中期経営計画の位置づけ

経営理念

- グローバルな『人と社会』への貢献
- 知恵とアイデアと積極果敢さ
- 「技術を活かすこと」「皆さまのお役にたつこと」



- ◆ 2010年～2012年の3ヶ年をテクノホライゾンSTART DASH期と位置づけ、第2期(2013年中期経営計画)以降の本格的事業展開の基礎づくりを素早い動きで実現する。

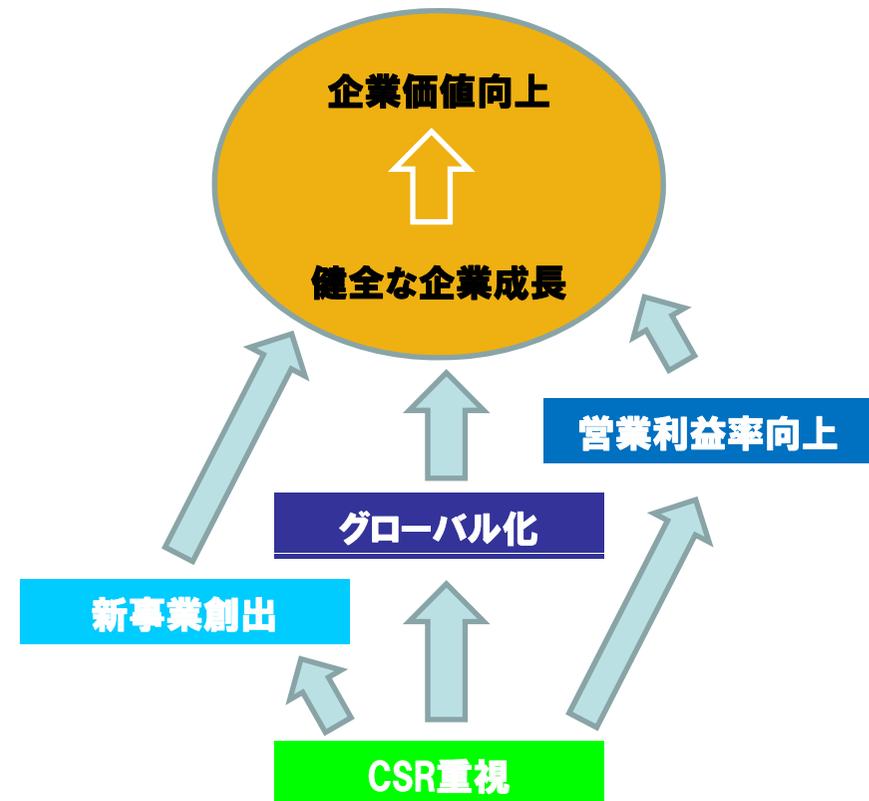
グループ 第1期中期経営計画 基本方針

指針:

「健全な企業成長と企業価値の着実な向上」

戦略:

- ① 新事業の創出
- ② グローバル化
- ③ 営業利益率の向上
- ④ CSR重視



中期経営戦略と具体的施策

戦 略	施 策
① 新事業の創出	グループシナジーの強化
	ビジネスモデルの変革
	新製品分野の拡大
② グローバル化	ICT (Information and Communication Technology) 機器販売の更なるグローバル化
	電子事業のグローバル化
③ 営業利益率の向上	低利益率事業の見直し
	高付加価値製品の開発
	VA・コストダウン
④ CSR重視	コンプライアンスの徹底
	環境経営の推進
	CSR活動の拡大

投資計画

(単位:百万円)	2010年	2011年	2012年
研究開発投資	1,150	1,450	1,500
設備投資	1,000	900	900
計	2,150	2,350	2,400

- ◆ **研究開発投資は、ニッチトップ戦略に基づく新事業創出を中心に実行してゆきます。**
尚、当社グループの内、(株)タイテックと(株)中日電子は受託開発事業の占める割合が比較的大きく、これに関する開発費用は研究開発投資額より除外しております。
- ◆ **設備投資は、光学ユニット製造を中心に事業のメジャー化を図るべく実施してまいります。**

グループ数値目標

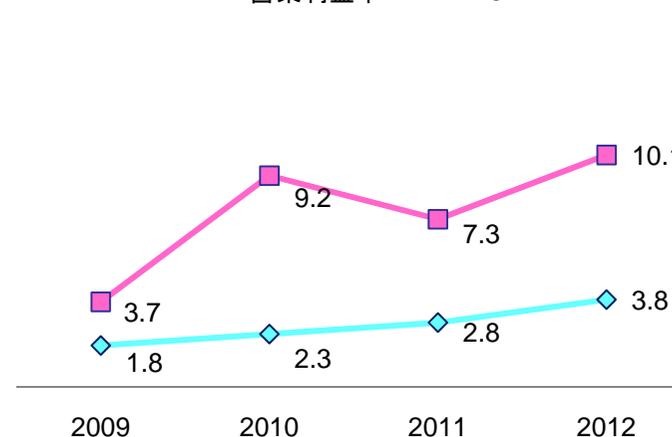
(単位:百万円)	2009年実績	2010年	2011年	2012年
売上高	34,581	45,350	49,000	52,000
営業利益	630	1,030	1,350	2,000
営業利益率	1.8%	2.3%	2.8%	3.8%
経常利益	704	990	1,300	1,900
当期純利益	267	880	700	1,100
ROE	3.7%	9.2%	7.3%	10.1%

注1: 当社は、2010年4月1日に(株)タイテックと(株)エルモ社が株式移転することにより、共同持株会社として設立されました。従いまして、2009年実績数値は従前の連結親会社である(株)タイテック2010年3月期連結実績数値を記載しております。

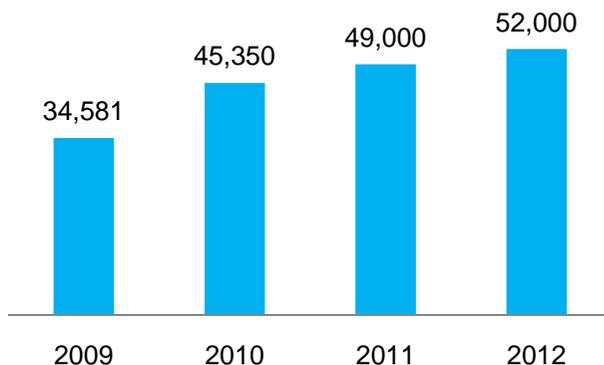
注2: 2009年実績数値に含まれる(株)SUWAエレクトロニクスの実績数値は2カ月分のみです。

注3: 2010年目標数値には、特別利益として負ののれん償却額430百万円が含まれております。

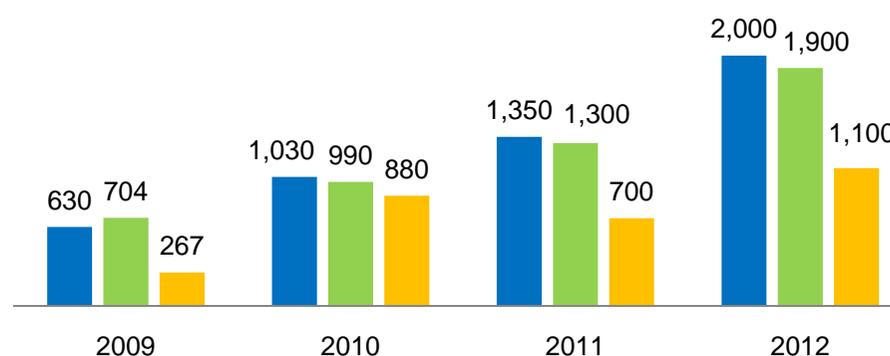
◆ 営業利益率 ■ ROE 単位: %



■ 売上高 単位: 百万円



■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益 単位: 百万円

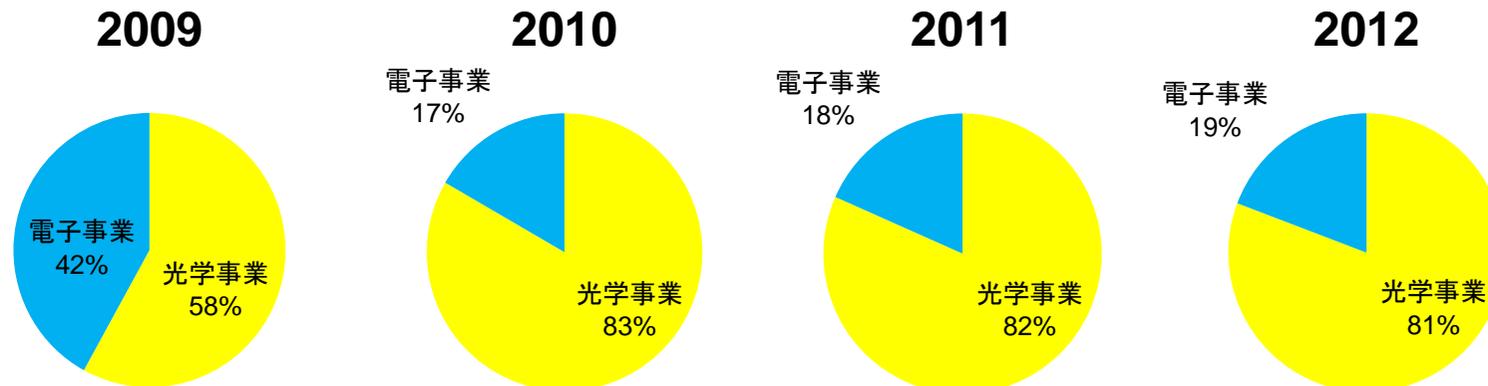


セグメント数値目標—事業別売上高

(単位:百万円)	2009年実績	2010年	2011年	2012年
光学事業	20,059	37,690	40,000	42,000
電子事業	14,521	7,660	9,000	10,000
計	34,581	45,350	49,000	52,000

注1:当社は、2010年4月1日に(株)タイテックと(株)エルモ社が株式移転することにより、共同持株会社として設立されました。従いまして、2009年実績数値は従前の連結親会社である(株)タイテック2010年3月期連結実績数値を記載しております。

注2:2009年実績数値に含まれる(株)SUWAオプトロニクスの実績数値は2カ月分のみです。

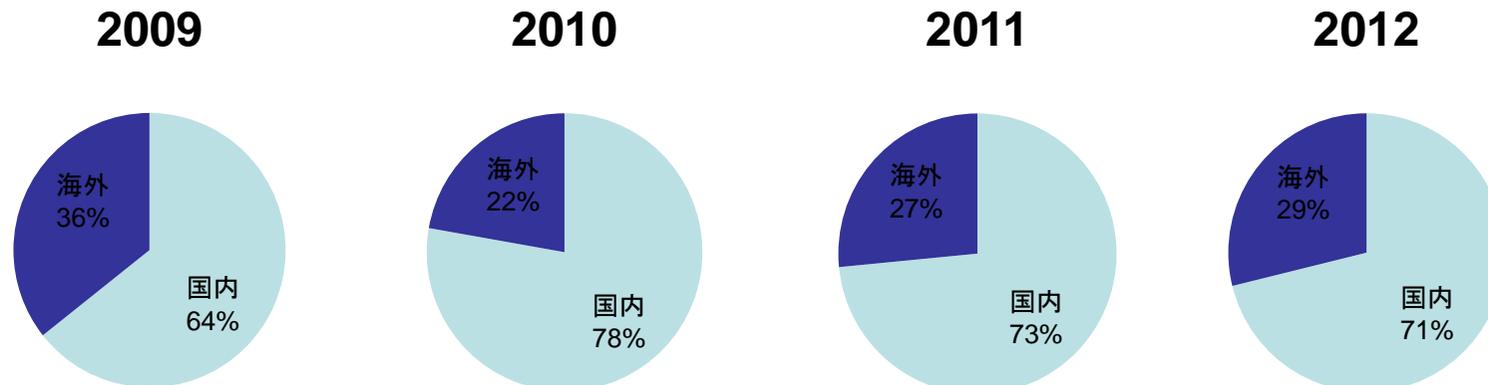


セグメント数値目標—地域別売上高

(単位:百万円)	2009年実績	2010年	2011年	2012年
国内	22,251	35,250	36,000	37,000
海外	12,330	10,100	13,000	15,000
計	34,581	45,350	49,000	52,000

注1:当社は、2010年4月1日に(株)タイテックと(株)エルモ社が株式移転することにより、共同持株会社として設立されました。従いまして、2009年実績数値は従前の連結親会社である(株)タイテック2010年3月期連結実績数値を記載しております。

注2:2009年実績数値に含まれる(株)SUWAオプトロニクスの実績数値は2カ月分のみです。



テクノホライゾン・ホールディングスの経営課題

- ◆ **グループ中計基本方針に基づき、グループ数値目標を達成すべく、当社は下記の経営課題に取り組みます。**
 1. **グループ企業各社の新事業創出とグローバル化の活動に向けて、専門スタッフによる事業化調査(Feasibility Study)と海外展開支援を積極的に実施する。**
 2. **新事業創出とグローバル化にあたり、グループ経営資源の結集、すなわちグループ力の結集をはかり、シナジー効果の最大化を図る。**
 3. **グループ各社の積極果敢さに溢れた事業活動のベースとなる財務基盤の強化に努める。**
 4. **効率の良い「グループ組織経営体制」作りを進める。**

IR担当窓口

- 部署：テクノホライゾン・ホールディングス株式会社
- 役職：取締役
- 氏名：水野 雅裕
- 電話：052-823-8551
- FAX：052-823-8560
- E-mail： info@technohorizon.co.jp

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

TECHNO HORIZON HOLDINGS CO., LTD.

